

備前市 事務事業評価表

事務事業名	表彰事業	コード	06-01-13-01
		担当課・係	総務課秘書係
		担当者	入江章行
事業実施期間	昭和46年～	電話	64-1800(内線282)
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営	
	小項目(施策)	その他事務管理/秘書	

事業について	
目的 (何のために)	郷土の誇りとしてひとしく敬愛を受ける者、市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる行為があった者を表彰し、もって市勢の振興を促進する
対象 (誰・何を対象に)	郷土の誇りとしてひとしく敬愛を受ける者、行政委員、文化貢献、公共事務及び公共事務ほう助など、市勢の振興に寄与した者、市民の模範と認められる者など
内容	市民栄誉章、功労表彰・善行表彰、栄典(叙位叙勲)

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果						
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)			
表彰者選考委員会開催	1回	1回				
功労表彰	7人	1人				
善行表彰	2人	1人				
叙位叙勲・褒章の推薦	9回	5回				
市民栄誉章		1人				
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 581	国庫補助金等	直接事業費 139	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費 1,870	受益者負担	人件費 1,499	受益者負担	人件費	受益者負担
	合計 2,451	市債 一般財源等	合計 1,638	市債 一般財源等	合計 0	市債 一般財源等

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

必要人員	0.20人	0.18人	
結果指標名	功労・善行表彰数	功労・善行表彰数	
結果指標量	9	2	
単位	件	件	
対前年比	-	22.22%	0.00%
活動にかかるコスト	1,890,000円	647,000円	
単位当たりコスト	210,000円	323,500円	
結果指標名			
結果指標量			
単位			
対前年比	-		
活動にかかるコスト			
単位当たりコスト			

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	表彰者があることによって、功績者本人を讃え、広報・顕彰する		
成果指標名	功労・善行表彰があること	式又は説明	市勢の振興を図る観点から表彰者が毎年度あること
	17年度	18年度	
成果指標量	9	2	
対前年比	-	22.22%	0.00%
到達目標値	1	到達目標年度	-

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 備前市表彰条例ほか	妥当性評価<A~E>	A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	目的・対象は妥当であって、問題点は見出せない	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	対象者選定、選考など事業実施についてのシステムが構築されており、合併に伴う運用面での情報統合が必要である。	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	表彰対象者を7名として、前年単価により執行予定
目標値	結果指標量	功労・善行表彰数	結果指標量	
	成果指標量	功労・善行表彰があること		

総合評価		評価区分<A~E>	C
事業継続すべきである			

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	なし		
効率性	合併後の完全な事務引継ぎを行う	平成20年度	事務作業時間の短縮
有効性	なし		